

圏域	No	市町村名	事業名	事業主体	対象事業費 (円)	補助要望額 (円)	事業の概要		複数年 継続事業	理由
仙台	1	仙台市	外国人住民実態調査の結果を踏まえた実証事業	仙台市	8,513,000	4,256,000	目的	令和7年3月に『仙台市ダイバーシティ推進指針』を策定し、誰もが安心して住み続け活躍できるまちづくりを進めている。東北大学の国際卓越研究大学認定等により、今後外国人研究者や留学生などの増加が見込まれることから、外国人住民への対応を強化していく必要がある。 本事業は、24年ぶりに実施した「令和7年度仙台市外国人住民実態調査」の結果などを踏まえ、外国人住民の受け入れ環境整備に向けた実証事業を行うものである。		本事業は、24年ぶりに外国人住民を対象とした「令和7年度仙台市外国人住民実態調査」の結果などを踏まえ、外国人住民の受け入れ環境整備に向けた実証事業である。 ・市は令和7年3月に『仙台市ダイバーシティ推進指針』を策定し、事業を検討・立案する際、多様な価値観やニーズを踏まえ、柔軟で配慮あるサービスとなるよう、当事者の声に耳を傾けながら進めていくことを視点として掲げている。今般、24年ぶりとなる外国人住民を対象とした全数調査を実施し、「やさしい日本語」と「医療」という生活基盤の課題を特定し、解決策を検証する「実証事業」としている点で先進性・モデル性があるものと認められる。 ・また、本事業は、当事者である外国人住民の生の声に基づき設計された実証事業であり、有効性の高い取り組みであると言える。特に、医療に関する取り組みについては、従前から実施されているサポートを踏まえた調査で明らかになった課題に対応するものであり、受診する外国人住民だけでなく、受け入れる医療機関において、適切な医療を提供するための負担軽減にも繋がる取り組みであることから、有効性・効率性が認められる。 以上により、本事業は市町村提案事業の趣旨に合致した事業であるといえる。
							内容	令和8年度は「やさしい日本語」と「医療」に着目した以下の取り組みを新規に実施する。これらの取り組みを通して、誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりを推進する。 ①誰にでも伝わる「やさしい日本語」などを用いた、外国人住民に本市の文化・生活ルール等を知ってもらうための周知啓発ツールを作成する。 ②外国人の医療受診の円滑化に向けて、病院探しなどの事前相談から受診当日まで一連の支援に関する実証実験を行う。なお、実証期間は3ヶ月間を想定している。		
仙台	2	多賀城市	TAGAJJO FASHION AWARD ～東北から世界へ羽ばたく服飾人財育成プロジェクト～	多賀城市	14,999,600	7,499,000	目的	東北において服飾分野を学ぶ若者がデザインし制作する服飾を、表彰・顕彰するアワードを開催することで、服飾分野での活躍を目指す若者を集め、世界へと羽ばたく人財を育む。 人財育成を行いながら、「ファッション」を文化観光の資源の一つに磨き上げ、観光客入込数と域内消費額の増加につなげる。 市内児童や生徒、その保護者が、夢を追う東北の若者の姿や最先端のファッションを目の当たりにすることで、服飾分野のみならず、様々な未来への挑戦意欲の創出を目指すと同時に、多賀城の新たな価値に気づかせ、多賀城に住まうことへのシビックプライドを醸成する。		本事業は、東北において服飾分野での活躍を志す若者を対象に「TAGAJJO FASHION AWARD」を開催し、人財育成やシビックプライドの醸成を目的とした事業である。 ・古代東北の政治・文化交流の拠点であった歴史的背景を礎に、「古代と現代の融合」の観点から、古代東北の中心地であった多賀城市において、現代の最先端を象徴する「ファッション」に焦点を当てて実施する、独自性のある事業である。 ・外部評価の場における若者を代表する委員からの「若者向けの取り組みが不足している」という意見を踏まえ、若者の関心が高い服飾分野を取り上げることで、住民の意向・要望を反映させている。 ・現時点で服飾分野での活躍を目指している参加者だけではなく、次世代を担う市内の児童・生徒の挑戦意欲の創出、さらに、公募の市民モデルの参加や市民の鑑賞機会の創出による市民協働によるシビックプライドの醸成を図る取り組みである。また、「TAGAJJO FASHION AWARD」を毎年多賀城市に人が集う文化観光資源として磨き上げることで、観光客入込数や域内消費額の増加に繋げることを見込んでおり、一過性のイベントではない、有効性のある取り組みであると言える。 以上により、本事業は市町村提案事業の趣旨に合致した事業であるといえる。
							内容	東北において服飾分野での活躍を志す若者を対象にTAGAJJO FASHION AWARDを開催 ①未発表の服飾デザインの公募を実施し、国内外のファッションデザイナーをはじめ、東北で活躍する文化人及び市民代表等を審査員に、応募のあった服飾デザインの書類選考を行う。 ②書類選考通過者による書類選考をクリアした服飾デザインをもとに制作した服飾を持参しての最終選考会を開催し、審査員による審査を経て表彰を行う。午前で最終選考会、午後で表彰式を兼ねたお披露目会を開催する。 関係者及び来場者に対して多賀城市内への宿泊を促すことで、観光客入込数に加え、域内消費額の増加を図る。 なお、お披露目会では最終選考会のモデルの他、公募で集まった市民モデルもランウェイを歩くことで、シビックプライドの醸成を図るとともにファッションショーを盛り上げる。		
合計					23,512,600	11,755,000				